

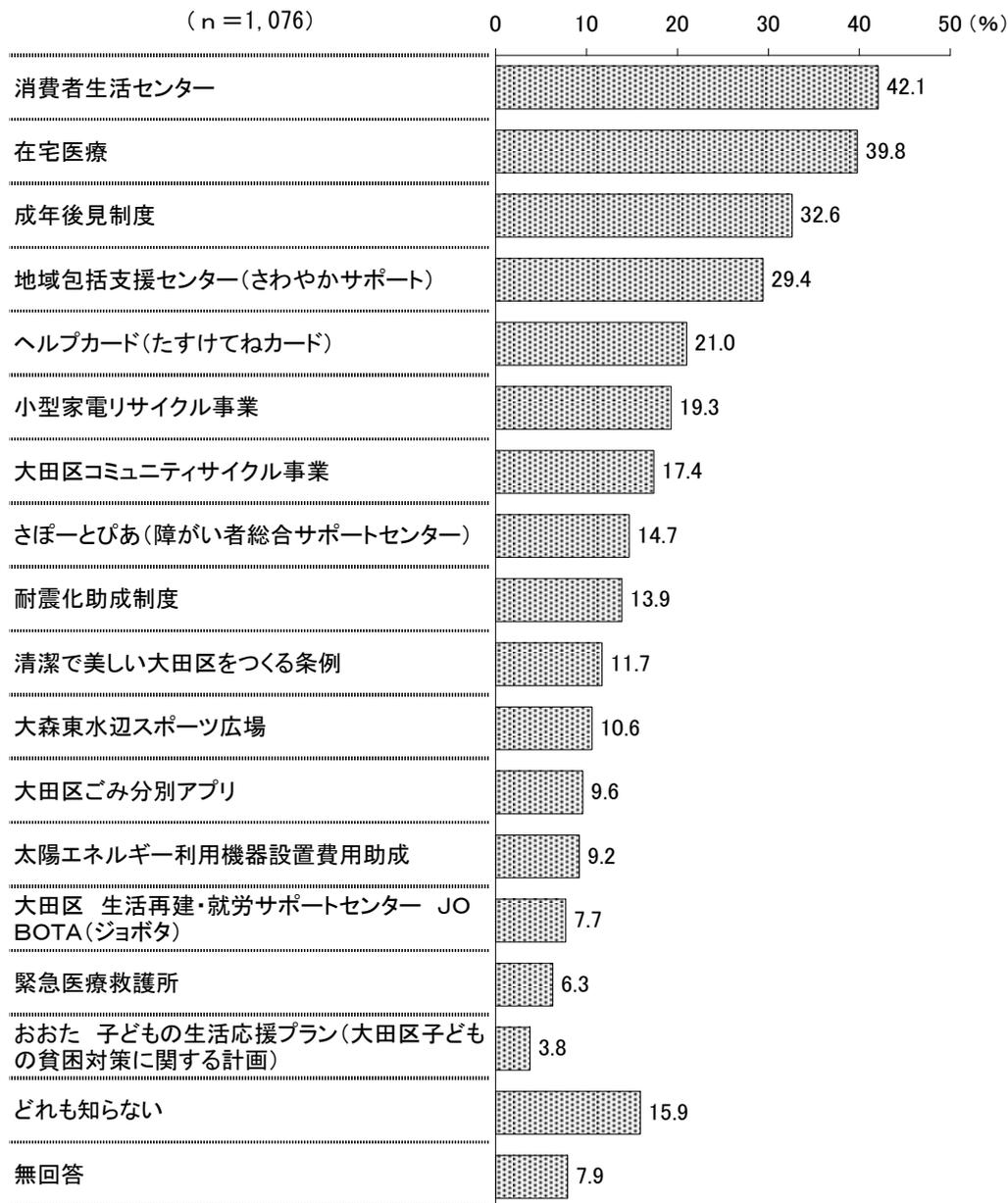
17. 区政への関心と要望

(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度

◇「消費者生活センター」が4割を超える

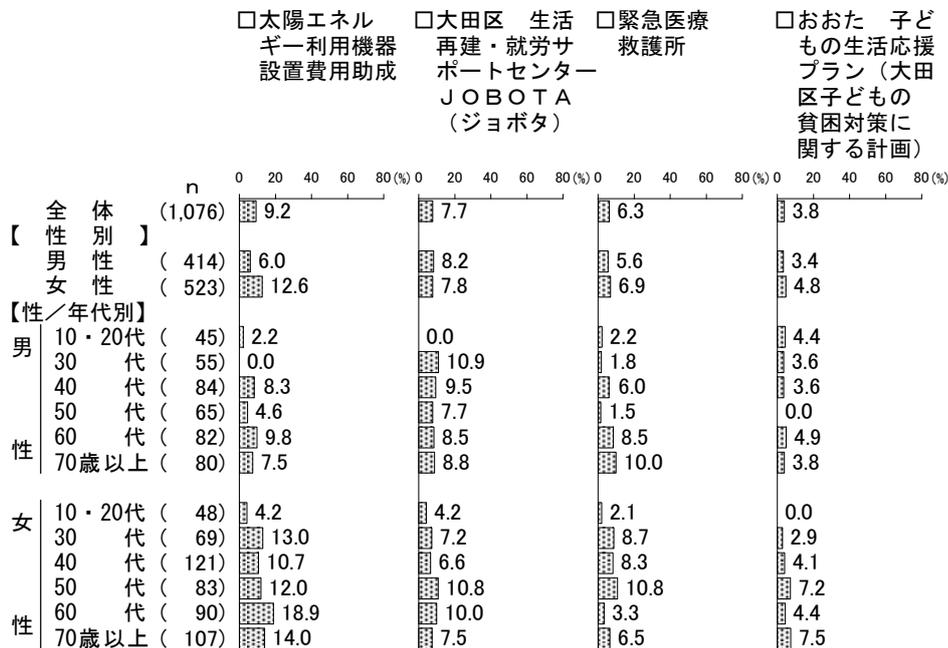
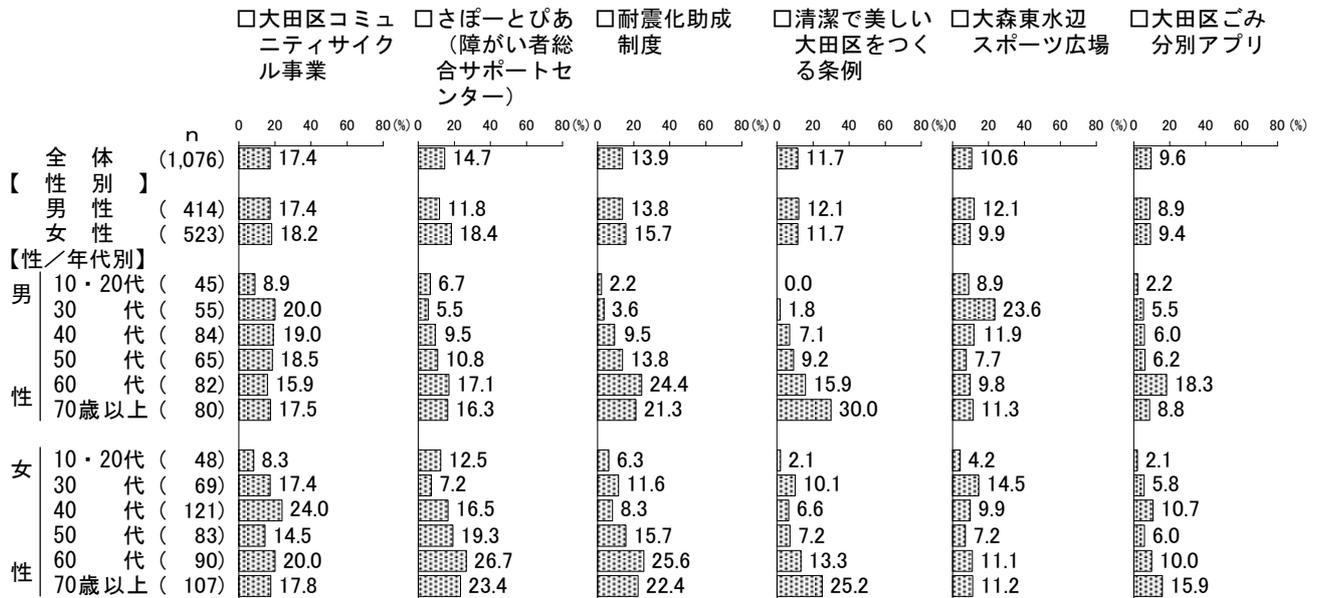
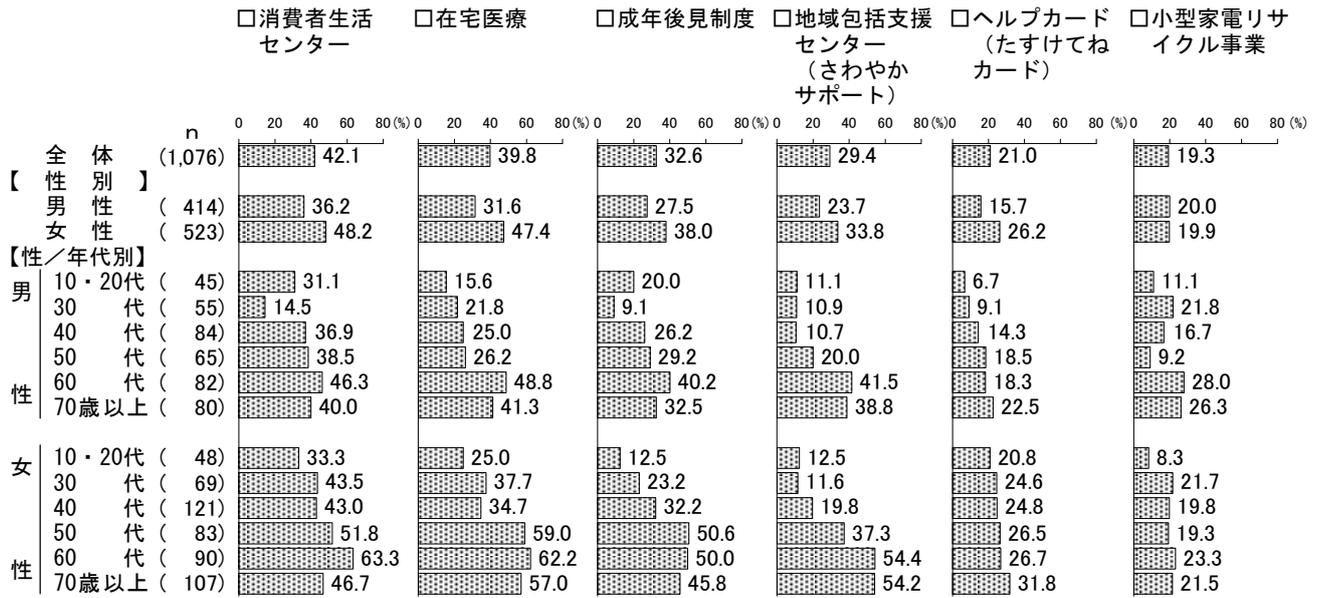
問28 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたがご存知のものをすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

図17-1-1



区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(42.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「在宅医療」(39.8%)、「成年後見制度」(32.6%)、「地域包括支援センター(さわやかサポート)」(29.4%)、「ヘルプカード(たすけてねカード)」(21.0%)などの順になっている。(図17-1-1)

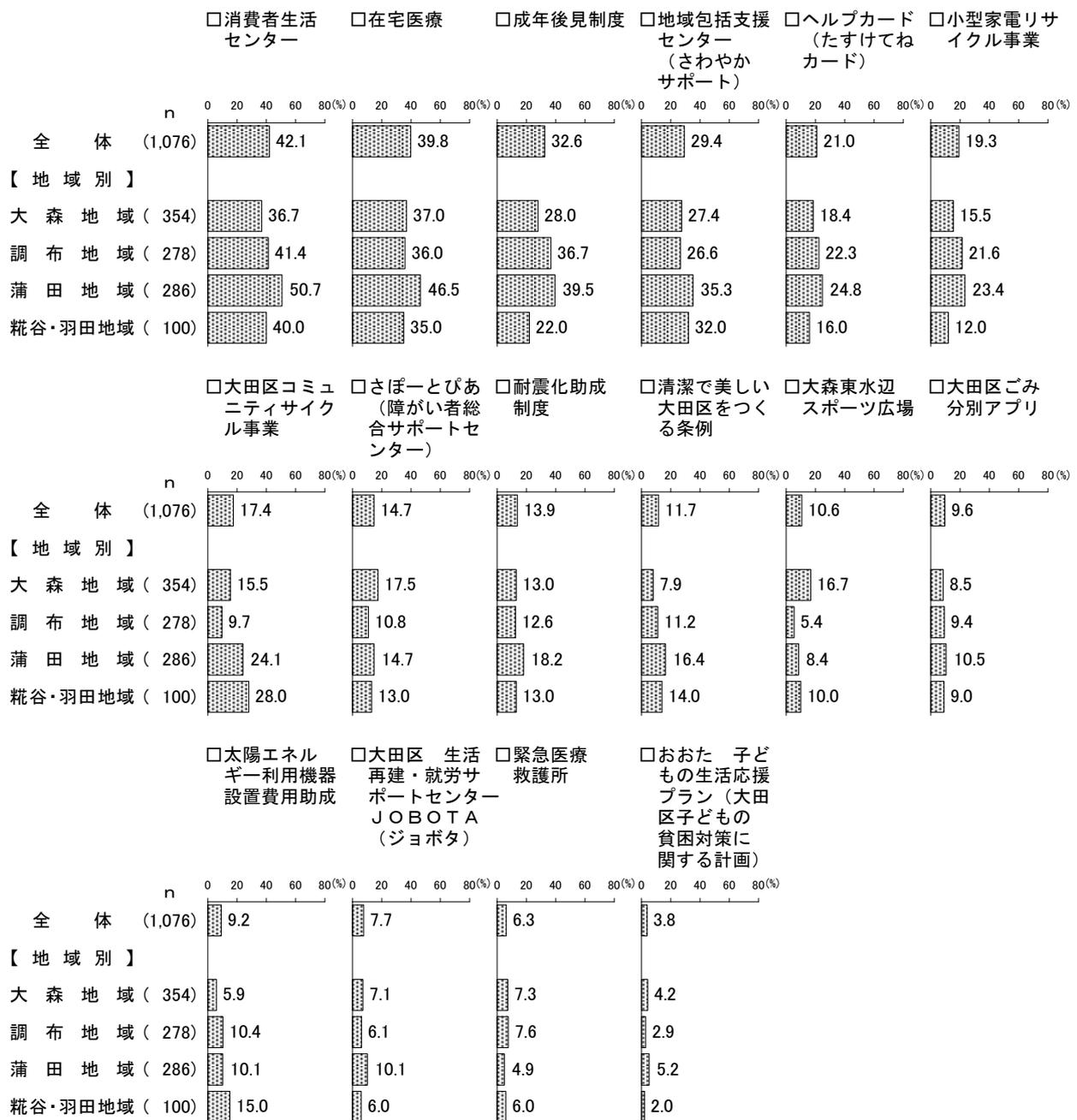
図17-1-2 大田区等の制度・施策・施設の認知度一性／年代別



性別でみると、多くの項目で女性が男性を上回っており、「在宅医療」は女性（47.4%）が男性（31.6%）より15.8ポイント、「消費者生活センター」は女性（48.2%）が男性（36.2%）より12.0ポイント、それぞれ高くなっている。

性/年代別でみると、「消費者生活センター」は女性60代（63.3%）で6割を超えて高くなっている。「在宅医療」は女性60代（62.2%）で6割を超えて高くなっている。「地域包括支援センター（さわやかサポート）」は女性の60代（54.4%）と70歳以上（54.2%）で5割半ばと高くなっている。（図17-1-2）

図17-1-3 大田区等の制度・施策・施設の認知度—地域別



地域別でみると、「消費者生活センター」は蒲田地域（50.7%）で約5割と高くなっている。「在宅医療」は蒲田地域（46.5%）で5割近くと高くなっている。（図17-1-3）

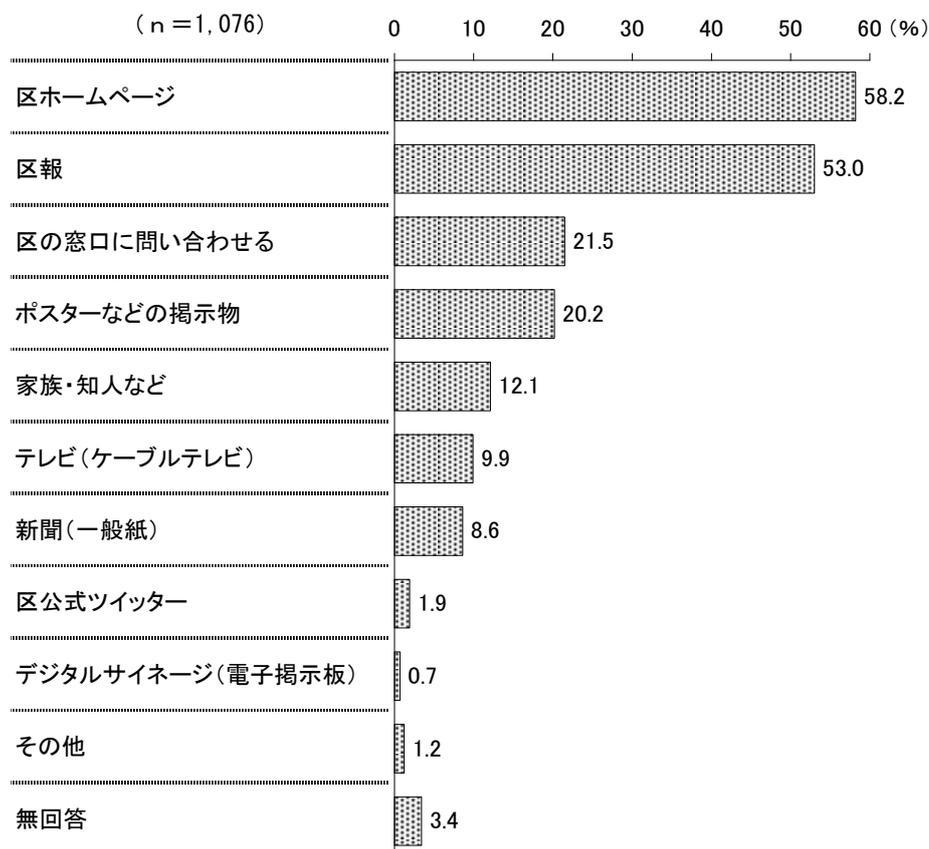
(2) 区の情報を知るために利用する媒体

◇「区ホームページ」が6割近く

問29 大田区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用しますか。

(○はいくつでも)

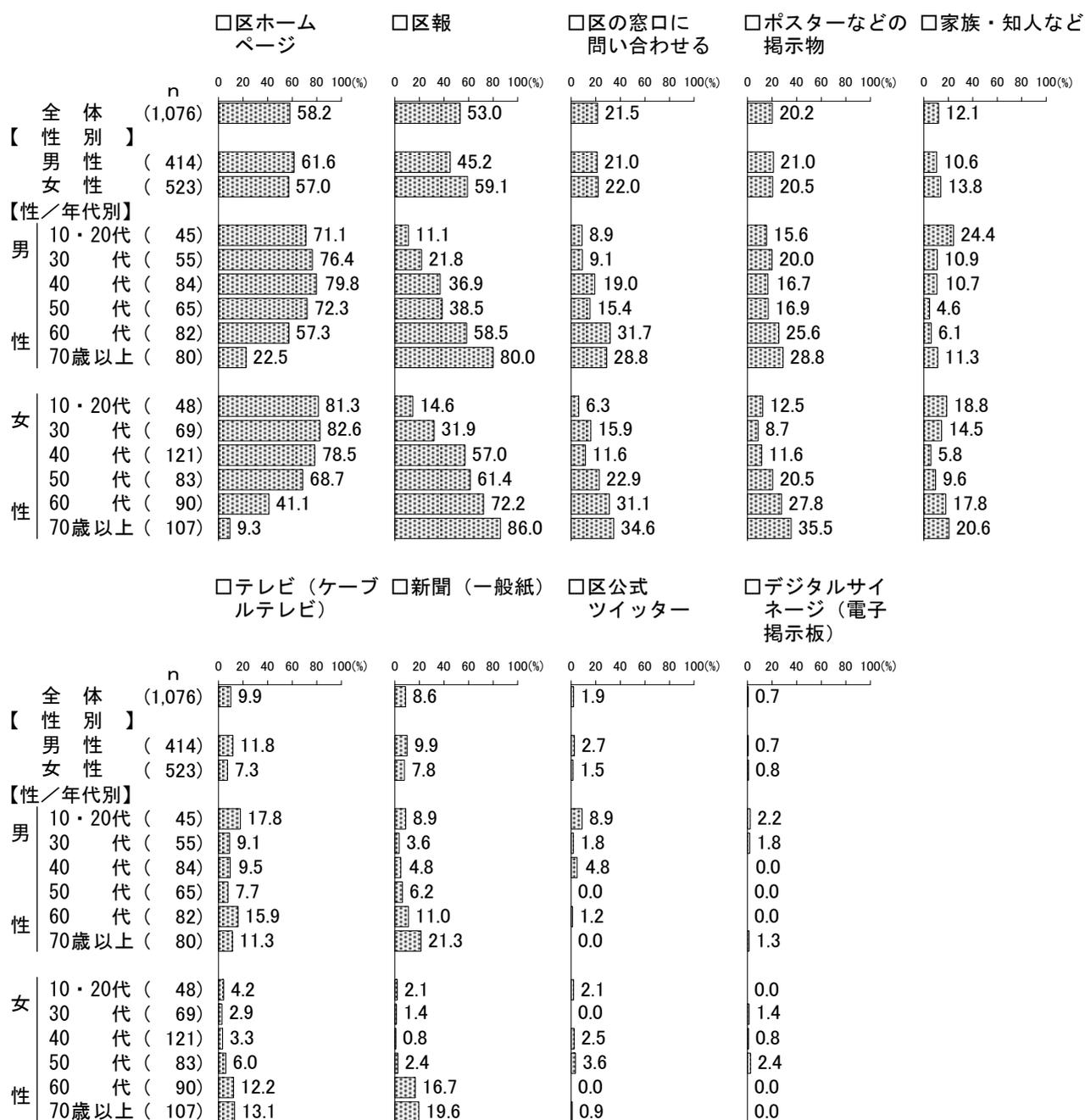
図17-2-1



区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区ホームページ」(58.2%)が6割近くで最も高く、次いで「区報」(53.0%)、「区の窓口にお問い合わせ」(21.5%)、「ポスターなどの掲示物」(20.2%)、「家族・知人など」(12.1%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「暮らしのガイド」、「インターネットで検索する」などがあげられている。(図17-2-1)

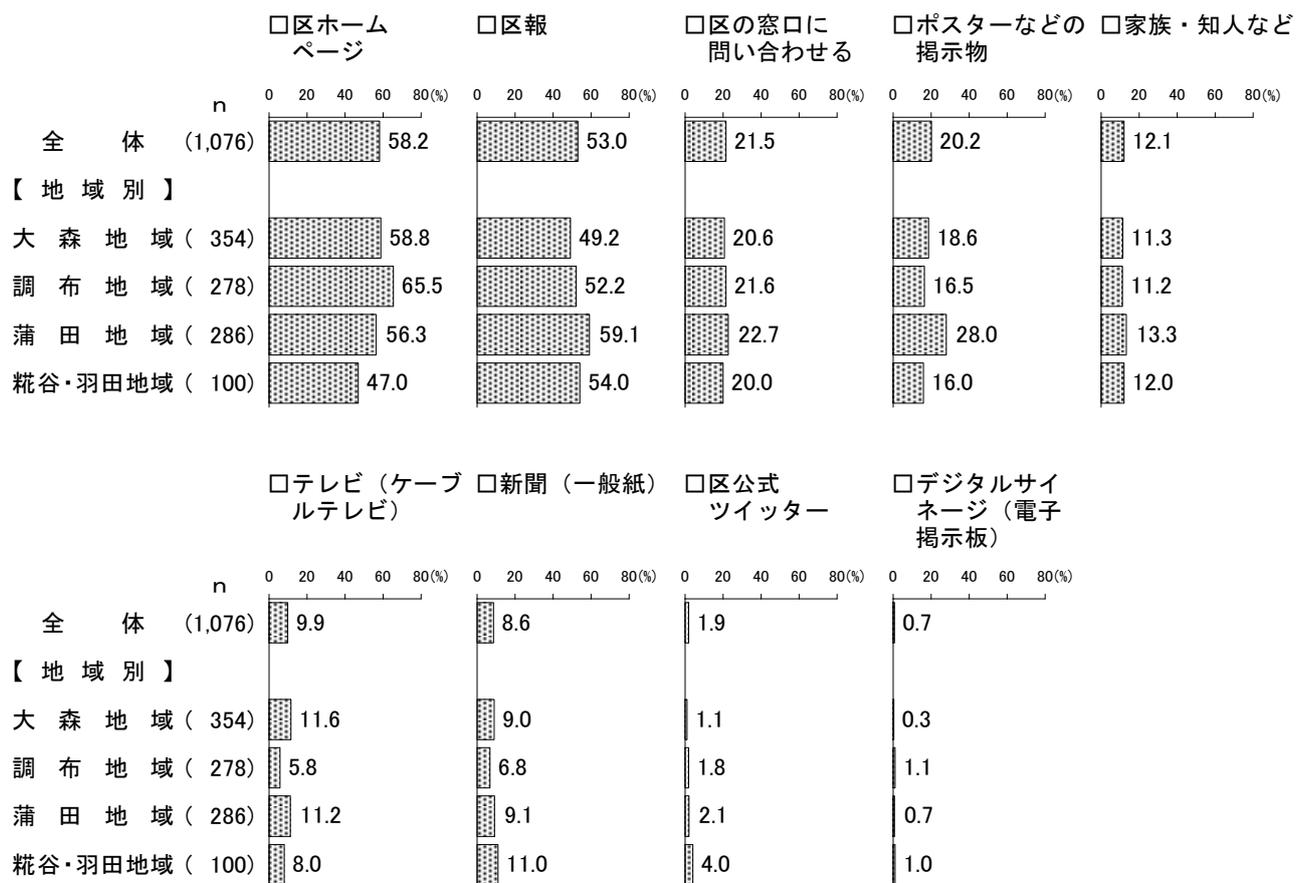
図17-2-2 区の情報を知るために利用する媒体—性／年代別



性別で見ると、「区報」は女性（59.1%）が男性（45.2%）より13.9ポイント高くなっている。一方、「区ホームページ」は男性（61.6%）が女性（57.0%）より4.6ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「区ホームページ」は女性の10・20代（81.3%）と30代（82.6%）で8割を超えて高くなっている。「区報」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（86.0%）と男性70歳以上（80.0%）で8割台となっている。「ポスターなどの掲示物」は女性70歳以上（35.5%）で3割半ばと高くなっている。（図17-2-2）

図17-2-3 区の情報を知るために利用する媒体—地域別



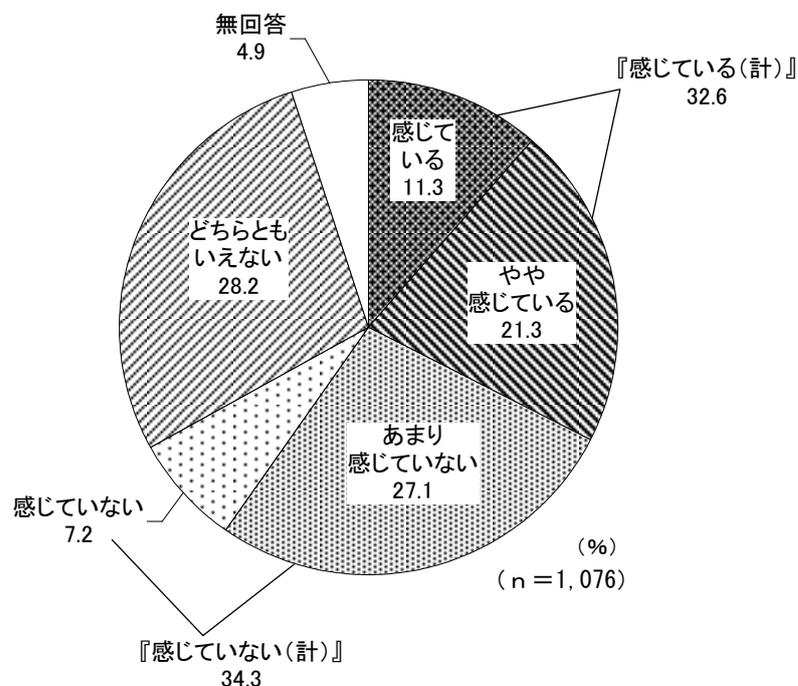
地域別でみると、「区ホームページ」は調布地域（65.5%）で6割半ばと高くなっている。「区報」は蒲田地域（59.1%）で約6割と高くなっている。「ポスターなどの掲示物」は蒲田地域（28.0%）で3割近くと高くなっている。（図17-2-3）

(3) 区の情報公開

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割を超える

問30 区政情報が適切に公開されていると感じていますか。(○は1つだけ)

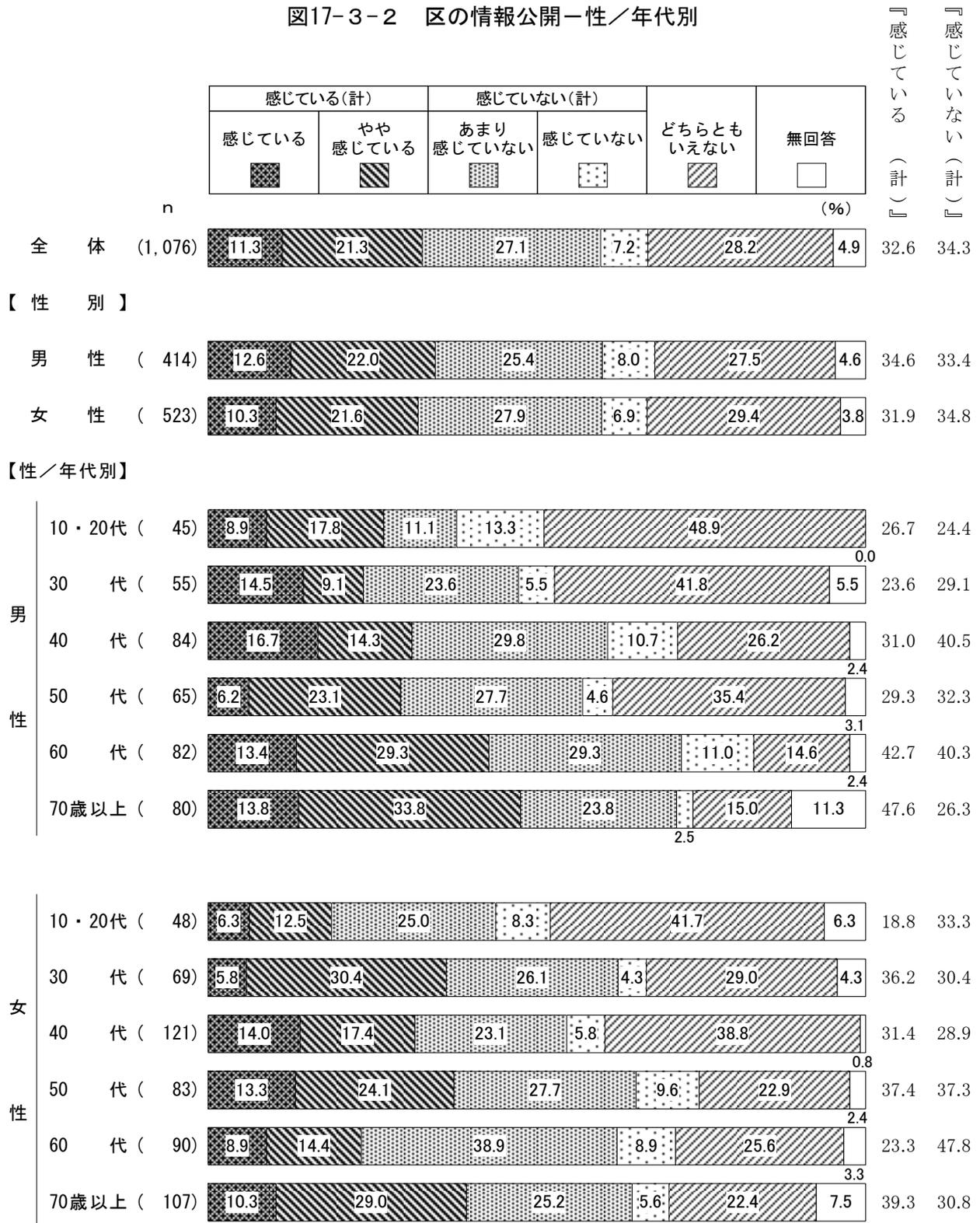
図17-3-1



区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(11.3%)と「やや感じている」(21.3%)を合わせた『感じている(計)』(32.6%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(27.1%)と「感じていない」(7.2%)を合わせた『感じていない(計)』(34.3%)は3割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(28.2%)は3割近くとなっている。

(図17-3-1)

図17-3-2 区の情報公開一性／年代別

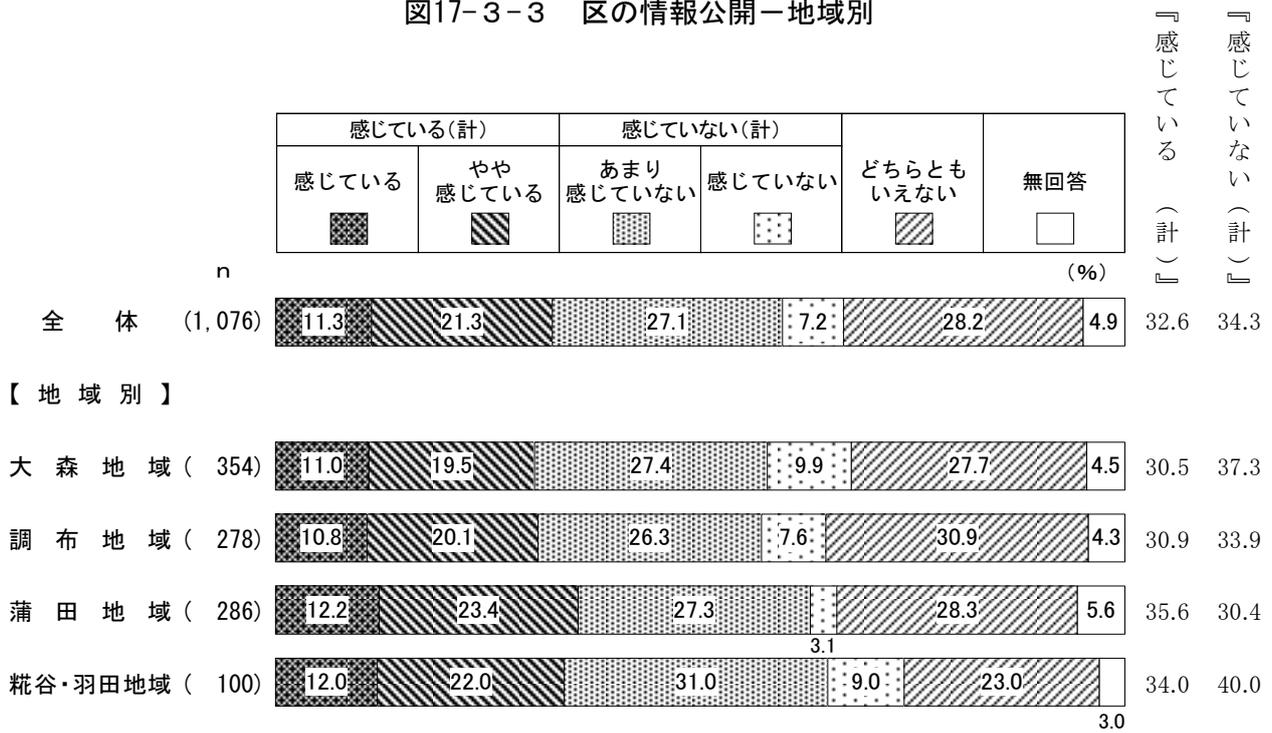


性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性70歳以上(47.6%)で5割近くと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は女性60代(47.8%)で5割近くと高くなっている。

(図17-3-2)

図17-3-3 区の情報公開—地域別

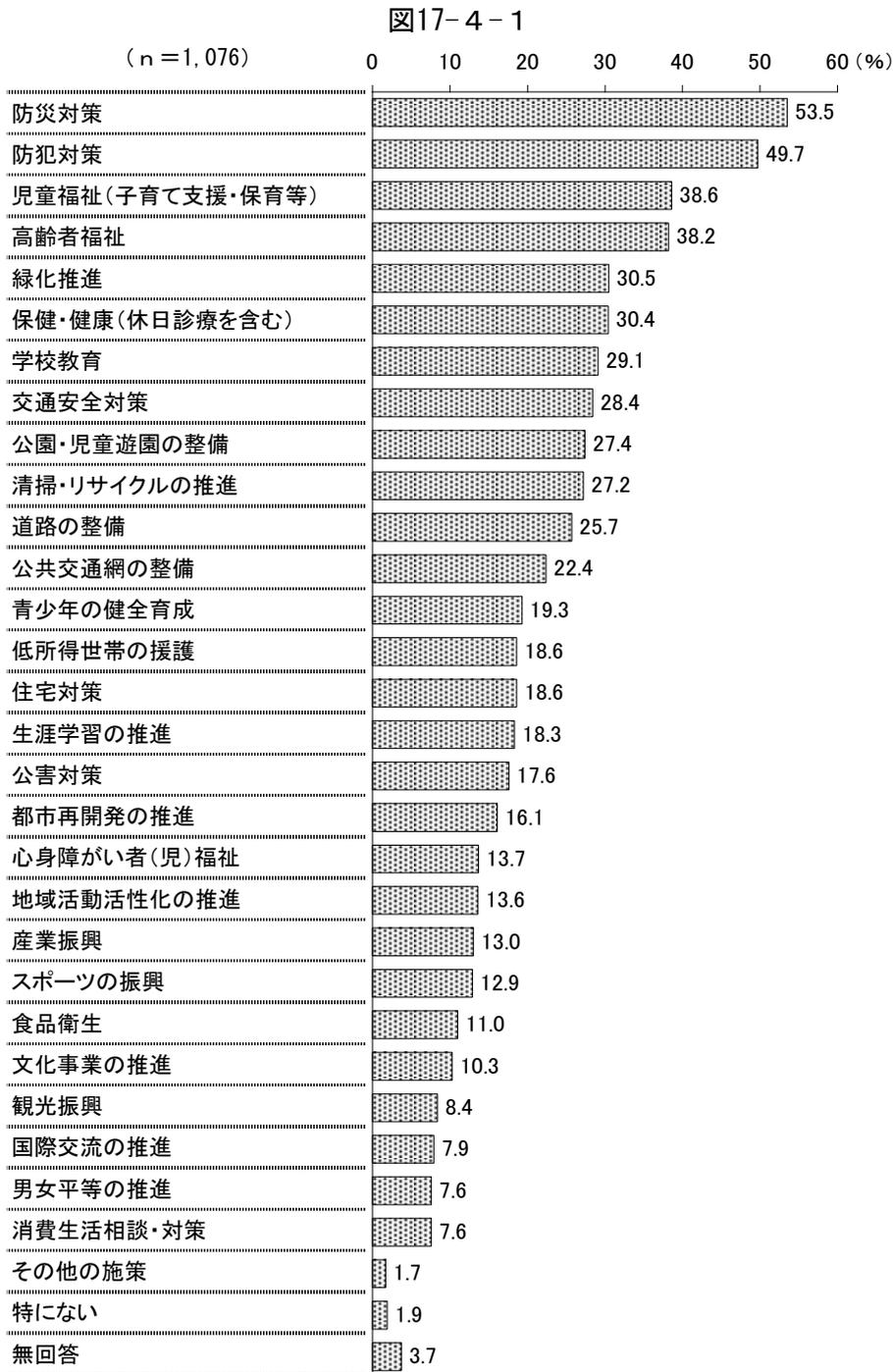


地域別で見ると、『感じている(計)』は蒲田地域(35.6%)と糀谷・羽田地域(34.0%)で3割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(40.0%)で4割と高くなっている。(図17-3-3)

(4) 施策要望

◇「防災対策」が5割を超える

問31 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)



区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(53.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「防犯対策」(49.7%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(38.6%)、「高齢者福祉」(38.2%)、「緑化推進」(30.5%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(30.4%)などの順になっている。

「その他の施策」への回答として、「喫煙対策」などがあげられている。(図17-4-1)

表17-4-1 施策要望一経年比較（上位10項目）

	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年
1位	防災対策 (53.5)	防犯対策 (51.9)	防災対策 (54.7)	防災対策 (54.5)	防災対策 (50.1)
2位	防犯対策 (49.7)	防災対策 (51.0)	防犯対策 (53.4)	防犯対策 (51.5)	高齢者福祉 (37.4)
3位	児童福祉(子育て支援・保育等) (38.6)	高齢者福祉 (37.9)	児童福祉(子育て支援・保育等) (42.6)	高齢者福祉 (43.4)	緑化推進 (31.5)
4位	高齢者福祉 (38.2)	児童福祉(子育て支援・保育等) (36.1)	高齢者福祉 (39.8)	児童福祉(子育て支援・保育等) (41.9)	交通安全対策 (24.5)
5位	緑化推進 (30.5)	保健・健康(休日診療を含む) (34.6)	保健・健康(休日診療を含む) (34.1)	保健・健康(休日診療を含む) (38.3)	休日診療 (24.5)
6位	保健・健康(休日診療を含む) (30.4)	緑化推進 (31.7)	学校教育 (32.2)	緑化推進 (34.7)	道路の整備 (24.3)
7位	学校教育 (29.1)	交通安全対策 (31.6)	交通安全対策 (29.3)	学校教育 (32.2)	公園・児童遊園の整備 (23.4)
8位	交通安全対策 (28.4)	公園・児童遊園の整備 (28.4)	緑化推進 (29.0)	清掃・リサイクルの推進 (29.3)	保健・健康 (23.3)
9位	公園・児童遊園の整備 (27.4)	道路の整備 (27.6)	清掃・リサイクルの推進 (29.0)	公園・児童遊園の整備 (28.3)	清掃・リサイクルの推進 (21.4)
10位	清掃・リサイクルの推進 (27.2)	清掃・リサイクルの推進 (27.5)	公園・児童遊園の整備 (28.8)	交通安全対策 (28.2)	公共交通網の整備 (18.9)

※「児童福祉(子育て支援・保育等)」は平成26年度までは「児童福祉」となっていた。

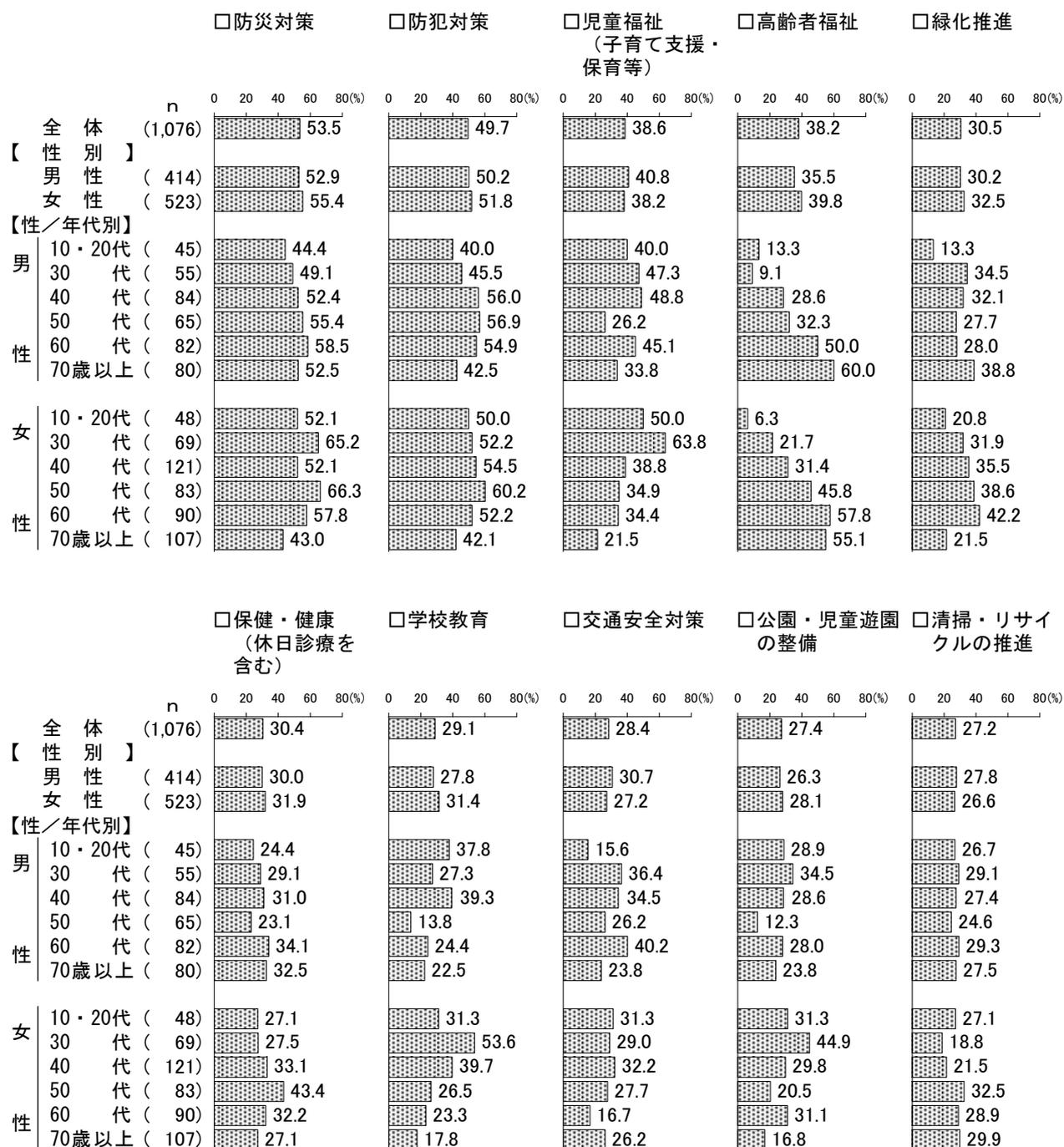
※「保健・健康(休日診療を含む)」は平成26年度までは「保健・健康」と「休日診療」の2つの選択肢となっていた。

※「学校教育」と「防犯対策」は平成27年度から追加されている。

※同ポイントの項目は選択肢の順に記載している。

上位10項目の経年比較については、平成26年以前の選択肢が今回調査と一部異なるため、平成26年以前の結果は参考となるが、「防災対策」は前回調査では2位であったが、今回調査では1位となっている。また、「防犯対策」、「児童福祉(子育て支援・保育等)」、「高齢者福祉」の3項目は、平成27年以降、引き続き上位4位まであげられている。(表17-4-1)

図17-4-2 施策要望一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「高齢者福祉」は女性（39.8%）が男性（35.5%）より4.3ポイント高くなっている。一方、「交通安全対策」は男性（30.7%）が女性（27.2%）より3.5ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「防災対策」は女性の30代（65.2%）と50代（66.3%）で6割半ばと高くなっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性30代（63.8%）で6割を超えて高くなっている。「高齢者福祉」は男性70歳以上（60.0%）で6割と高くなっている。（図17-4-2）

表17-4-2 施策要望—地域別（上位5項目）

(%)

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	1,076	防災対策 (53.5)	防犯対策 (49.7)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (38.6)	高齢者福祉 (38.2)	緑化推進 (30.5)
大 森 地 域	354	防災対策 (54.0)	防犯対策 (49.4)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (41.8)	高齢者福祉 (37.3)	学校教育 (33.6)
調 布 地 域	278	防災対策 (55.8)	防犯対策 (53.2)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (37.8)	高齢者福祉 (37.4)	緑化推進 (33.1)
蒲 田 地 域	286	防災対策 (54.2)	防犯対策 (50.3)	高齢者福祉 (40.2)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (38.1)	緑化推進 (33.2)
糎谷・羽田地域	100	防災対策 (53.0)	防犯対策 (50.0)	高齢者福祉 (38.0)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (33.0)	保健・健康(休日 診療を含む) /交通安全対策 (28.0)

上位5項目を地域別で見ると、全ての地域で「防災対策」が1位、「防犯対策」が2位となっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は大森地域と調布地域で3位、蒲田地域と糎谷・羽田地域で4位となっている。「高齢者福祉」は蒲田地域と糎谷・羽田地域で3位、大森地域と調布地域で4位となっている。(表17-4-2)